

LuaL^AT_EX, L^AT_EXで、多くの色を使う

color パッケージでは、標準で8色使える。black (黒), white (白), red (赤), green (緑), blue (青), cyan (シアン), magenta (マゼンタ), yellow (黄)

※ 色の名前は、大文字と小文字を区別する。

※ それぞれの色に濃淡(0 ~ 100%)を指定し、色を増やすことができる。

`red!100`, `red!50`, `red!15`, `cyan!100`, `cyan!50`, `cyan!15`

xcolor パッケージでは、標準で19色使える。オプションで、より多くの色
を使える。dvipsnames : 68色, svgnames : 151色, x11names : 317色

※ xcolor で複数のオプションの色を指定するには、次のようにする。

```
\usepackage[dvipsnames,svgnames,x11names]{xcolor}
```

color を使った後でも使える。xcolor を使った後にオプション付きの xcolor は、
エラーが出るので、初めに xcolor を指定するときに使いたいオプションをす
べて指定する必要がある。そのため、標準のファイルでは、color を指定し、
xcolor は必要なときに指定するのがよい。

kettask で使われている色を確認する。

先頭が実際の数値指定、右に近い色を名前で指定して列挙

`[1.00,1.00,0.00]` : `Yellow`, `yellow`

`[0.74,0.95,1.00]` : `PaleTurquoise`, `Cyan`

`[1.00,0.79,0.85]` : `Pink`

`[0.90,1.00,0.70]` : `PaleGreen`, `GreenYellow`, `YellowGreen`

`[0.00,1.00,0.00]` : `green`, `Lime`, `Green`

`[1.00,0.00,0.00]` : `red`

`[1.00,0.75,0.45]` : `Apricot`, `Orange`, `orange`, `LightSalmon`,
`Goldenrod1`, `Peach`, `PeachPuff`

(注意) LuaLaTeXでは, dvipdfmxの指定を外す。この文書は, luatex-japanパッケージを指定している。

LuaL^AT_EXでもL^AT_EXと同様に, いろいろな色が使える。